

「JJJ断熱診断 ソフトB」Ver4.00へのバージョンアップについて

新緑の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「JJJ断熱診断 ソフトB」について ver. 4.00 へのバージョンアップを行いましたのでご案内致します。令和3年4月に完全施行された改正建築物省エネ法への対応や機能面の向上を図りました。ダウンロードの方法と主なバージョンアップの内容は下記の通りです。

記

1. JJJ断熱診断 Ver. 4.00 のダウンロード方法

下記アドレスからダウンロードしてバージョンアップを行ってください。

<https://ida-shindan.or.jp/association/info/2021/05/>

※アカウントとパスワードは、別途メールにてお知らせしております。

2. バージョンアップの内容

【基本機能】

- 1) 改正建築物省エネ法への対応
- 2) 説明義務化に伴う説明書機能を追加
- 3) その他

【パッシブ設計オプション】

- 1) 暖冷房費計算から光熱費計算に機能強化
- 2) 新帳票「絵でみるわが家のパッシブ診断書」
- 3) 新帳票「絵でみるわが家の日当り計画書」
- 4) 直前の室温・動的熱負荷計算の結果を履歴ビューアで閲覧できるよう変更
- 5) その他

※詳細は別紙をご確認ください。

【基本機能】

1) 改正建築物省エネ法への対応

2021年4月1日に完全施行された改正建築物省エネ法に対応しました。

- ・新地域区分に変更

2019年11月に施行された新地域区分に対応いたしました。この新地域区分は最新の外気温等や標高の影響を加味しているため、旧地域区分よりも最新の気象条件に沿った設計がしやすくなります。

- ・開口仕様マスタの更新（従来の仕様表の廃止）
- ・基礎の線熱貫流率の計算方法に「定常二次元伝熱計算」を追加
- ・庇・日除けにおける日除け効果係数の計算方法の変更
- ・付加断熱（外張り断熱）の断熱仕様マスタの更新（計算方法の変更）
- ・欄間付ドア、袖付ドアの追加
- ・8地域における冷房期の平均日射熱取得率の基準値を変更
- ・空気層の熱物性値を変更

※外皮計算結果が変わる場合があります。

評価機関等に申請中のデータがある場合は、当面の間、旧バージョンを存置させ、必要に応じて新旧バージョンを使い分けていただくようお願いいたします。

2) 説明義務化に伴う説明書機能を追加

国が例示する省エネ適合のフォーマットに準じた帳票が出力できます。

3) その他

- ・外皮計算において線熱貫流率を数量補正する機能を追加しました。
- ・外皮計算においてルーフバルコニー下の断熱方式「梁桁間断熱」を屋根断熱扱いに変更しました。
- ・一次エネルギー消費量算定の判定画面にBEIの表示を追加しました。
- ・CADモードで開口部の移動/幅変更機能を追加しました。
- ・光熱費モードにおいて夜間電力に対応しました。

土間床・基礎断熱 設定方法選択

基礎の設定方法を選択してください。

土間床等の外周部の計算方法	線熱貫流率の算出方法	基礎断熱の範囲
<input type="radio"/> 定常二次元伝熱計算 (WEBプログラムで計算)	(国研)建築研究所「土間床等の外周部の線熱貫流率の算出プログラム」にて計算 ※令和3年4月1日から利用可能になった方法です。WEBプログラムサイトで算出した線熱貫流率をホームズ窓に入力してください。	基礎立ち上がりを含む範囲 ▼土間床上端が地盤面より高い場合、土間床上端より上部を基礎とする。 ▼土間床上端が地盤面より低い場合、地盤面より上部を基礎とする。
<input type="radio"/> 土間床等の外周部と基礎壁の熱損失を含んだ評価	基礎形状や断熱材の施工位置等を入力して計算 ※ホームズ窓Ver.4.18以前で採用している方法です。当面の間ご利用可能です。	地盤面から400mm超の範囲を基礎壁とする。 ▼土間床 ▼土間床
<input type="radio"/> 部位別仕様表から選択	部位別仕様表から選択	地盤面から400mm超の範囲を基礎壁とする。 ▼土間床 ▼土間床

次へ キャンセル

■基礎断熱の計算方法の選択画面

建築物のエネルギー消費性能の評価結果の概要

建築物の所在地	<input type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 町 <input type="checkbox"/> 村 <input type="checkbox"/> 日
建築物の名称及び用途	<input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 町 <input type="checkbox"/> 村 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 部 (住宅)
建築物エネルギー消費性能基準 (省エネ基準) への適合状況	<input checked="" type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合
建築物エネルギー消費性能の確保のためとるべき措置	
建築士種別	<input checked="" type="checkbox"/> 一級 <input type="checkbox"/> 二級 <input type="checkbox"/> 不造
建築士登録番号	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> 号
氏名	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> 号
所属事務所名	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> 号
建築士事務所登録番号	<input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> 号

■建築物エネルギー消費性能基準 (省エネ基準)
 建築物の備えるべきエネルギー消費性能について、「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」に基づき国が定める基準です。

■説明義務化に伴う帳票

【パッシブ設計オプション】

1) 暖冷房費計算から光熱費計算に機能強化

従来は室温・動的熱負荷計算の結果は暖冷房費のみを表示していましたが、換気や給湯、照明、家電等による電気代やガス代、太陽光パネルの発電による自家消費/売電を考慮した「光熱費」が計算されるようになりました。

2) 新帳票「絵でみるわが家のパッシブ診断書」

パッシブ設計を行った際、施主向けのプレゼン資料が作成できます。

3) 新帳票「絵でみるわが家の日当たり計画書」

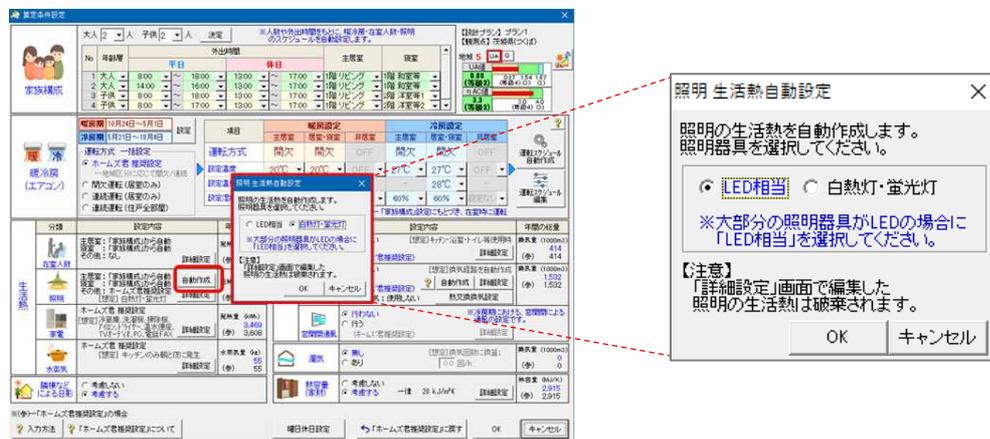
パッシブ設計を検討するうえで欠かせない日射検討（光と熱）結果を施主と共有するための資料が作成できます。

4) 直前の室温・動的熱負荷計算の結果を履歴ビューアで閲覧できるよう変更

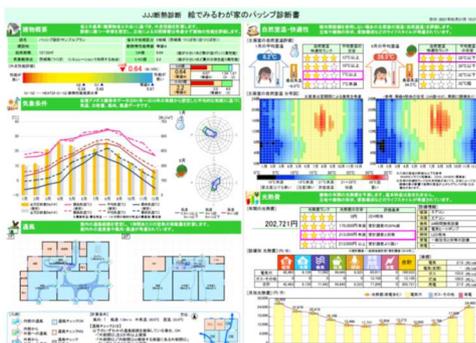
直前に実施した年間の室温・動的熱負荷計算の結果が室温ビューアで閲覧できるようになりました。

5) その他

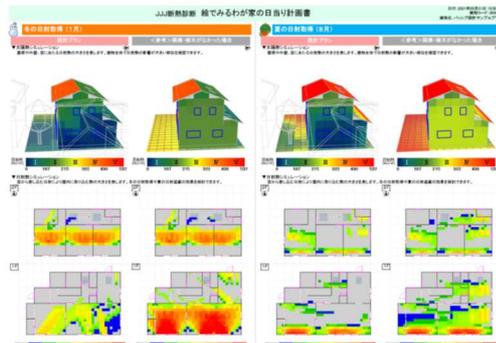
- ・窓の遮蔽物にスクリーンシェードを追加しました。
- ・夜間電力に対応しました。
- ・室温・動的熱負荷計算において、照明機器の種類に応じて内部発熱を自動生成する機能を追加しました。



■照明の内部発熱の自動作成機能を追加



■絵で見る我が家のパッシブ診断書



■我が家の日当たり計画書